

兵庫県のみ漁場環境情報 (西播海域 4号)

2021年11月12日発行
 兵庫のみ研究所

大型珪藻コシノディスカスが、この海域全般に依然多く確認されます。そのため、窒素は地先漁場で1 $\mu\text{g-at/L}$ 前後、沖合漁場で概ね1~2 $\mu\text{g-at/L}$ 台となっています。

(珪藻)

各海域のコシノディスカス発生量(海水1Lあたり)は以下の通り。

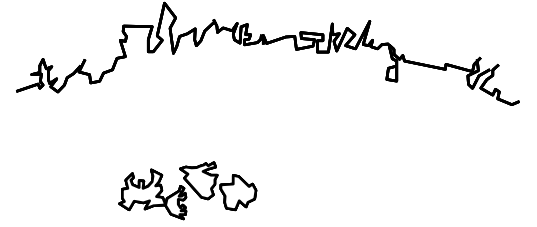
地先漁場: 150~1200細胞(前回値: 150~1000細胞)

沖合漁場: 100~1500細胞(前回値: 10~100細胞)

沖合漁場では、西側で細胞数が多く、東側は少ない

コシノディスカスの色素は前回調査(11/2)と比較して薄く、活力は低下していると思われる。西播地先ではスケレトネマが海水1mLあたり150~300細胞前後、キートセロスが60~100細胞見られた。

水温図



		前回値	今回値	平年値	昨年値
西播地先	窒素	2.0	0.8	6.1	2.6
	リン	0.38	0.37	0.62	0.61
家島・坊勢	窒素	1.4	1.9	4.5	1.7
	リン	0.45	0.53	0.64	0.53

(11/2) (11/18)

栄養塩(窒素) 図

2021年11月12日調査

